

第1回鳴門競艇のあり方に関する検討会議 会議録

【日 時】：平成21年7月8日（水）10時～11時45分

【場 所】：鳴門市役所3階会議室

【出席者】：

<委 員> 岩本委員、加渡委員、勘川委員、玉有委員、信田委員、平野委員、眞藤委員、丸尾委員、向委員、村上委員、山根委員（五十音順）

<事務局> 西谷企業局長、田村企業局次長、大島企業局次長（特定業務担当）、近藤経営企画総室長、山本競艇管理課長、向井経営企画総室副室長、田浦経営企画総室主査、笠井競艇管理課副課長

<傍聴者> 10人（うち報道関係3人）

【会議次第】

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長挨拶
4. 委員の紹介
5. 設置要綱説明
6. 会長・副会長の選出
7. 会長挨拶
8. 会の進め方・スケジュール説明
9. 鳴門競艇の現状及び今後の課題について
10. 閉会

【会議の概要】

1. 開会
2. 委嘱状交付 略式交付
3. 市長挨拶 吉田市長による開会あいさつ（平野副市長代読）
4. 委員の紹介 事務局から紹介
5. 設置要綱説明 事務局説明
6. 会長・副会長の選出

設置要綱第5条第2項に基づき委員の互選により、会長に玉有委員、副会長に勘川委員を選出。

7. 会長挨拶 玉有会長挨拶
8. 会の進め方・スケジュール説明

会長から会議の公開について各委員に諮り、原則公開として進めることと決定した。

会議録の調製については、日時、場所、出席した委員の氏名、説明のため出席した者の職及び氏名、

議題並びに議事の概要を、また、発言者については、会長、委員 A、B と記載するなどの事務局案を示し、次回の会議で委員確認の上、市公式 HP に掲載することと決定した。

<事務局から『スケジュール、会議の進め方』について説明>

6回の開催を予定し、今年度中に市長への報告案をまとめるスケジュール案を説明。

会議の進め方について、鳴門競艇の経営改善を進め、収益を確保し、地域経済を活性化するための方策について検討を進める案を説明。

A 委員：検討した結果を検証する場を設けないのか。

事務局：会議での検討内容を実施した結果については各委員個人に報告する形ではなく、今後予算化、施策などを進める中で、またホームページ等を通じて確認いただく方向で進めたい。

会長：検討会議の委員の任期は、検討結果を市長に報告するまでとなっており、検討結果を実施した後の結果については、委員も含めて幅広くわかるようにという趣旨でよいか。

(A 委員 了)

B 委員：基本的な確認だが、この会議は廃止も含めているのか。それともあくまで事業の継続を目指し、廃止は考えないのか。継続の方向で意見・知恵をだしあい、それをまず実践する。それでも、うまくいかず赤字が累積する一方となれば、事実上廃止に追い込まれる場合もある。今回はあくまでも、継続的な提言で、とりあえずやれる改善をやっていこう、そういう会と理解したほうがいいのか。

事務局：今回みなさんをお願いするのは、前向きな存続をかけて、とにかく何をすべきか、ということと、競艇事業のあり方はどうか、ということをご議論いただき、我々もそれに向けて進めていきたい。当面、存続をするということでご議論をお願いしたい。

会の進め方について、事務局案によることを会長から各委員に諮り、異議なしとして決定。

9. 鳴門競艇の現状と今後の課題について

<事務局から資料説明>

鳴門競艇の決算状況、舟券売上の推移、売上の形態の変化、開催経費の状況などについて説明。

B 委員：全国的によく似た傾向であるということであり、他の競艇場で改善計画をどのように推進しているのか、そういうデータがあれば我々も検討しやすいので、情報収集願いたい。

事務局：19年度決算であれば施行者別の収支状況もあるので次回提出する。

C 委員：他場の経営改善に向けた取り組み手法とあわせて、他場の個別経費の比率的なものと売上状況とを比較すれば非常にわかりやすいと思うので、あわせて資料をお願いしたい。

会長：全体的な経費の比較モデルというのは、場の規模の差はあるが、大いに参考になる。そういう方向で資料を集めていただきたい。

D 委員：公益関係のギャンブルは非常に厳しい状況にあるが、競艇場の関係の検討委員会を立ち上げてい

るところは、何ヶ所あるか。

E 委員：競艇場独自の検討会議は鳴門市だけだが、過去には数ヶ所ある。だが、その後のフォローアップ的なものに課題があると思う。検討課題をまとめ、どう展開したのかというところが大事である。この会議の委員の任期は報告するまでの間となっているが、こういった形で展開し、どのように競艇活性化のために活かしていくのか、報告を取りまとめる中でも、フォローアップを再度していくのか、あるいは、1年後、再度会議を招集するのかということも検討が必要かと思う。

会 長：フォローアップ、行政計画では進行管理というが、総合計画など事業計画の中には進行管理ということがよく盛り込まれている。最近、特に政策評価が注目されており、計画を実行し、チェックすることを重視している。市政全体の中での評価という位置づけもあるかと思うが、プランなり提案をしたあとのフォローをすることは大事である。

追加の資料について、厳しい環境下でも、売上を伸ばしている場が、どういう取組をしているのかという成功例も参考になる。また他場との比較の中で、特に経費の中で大きな割合を占めている従事員賃金について、従事員数も削減しており、全体の金額も時系列的にずいぶんと圧縮しているが、そういう点についても他場との比較の資料を用意したい。

D 委員：売上が200億前後の競艇場、たとえば瀬戸内圏などの経費を提示願いたい。都市部の人口密度の多いところと過疎圏の場合とでは条件が違う。

事務局：鳴門競艇とよく似た場の売上も分析した資料を提供したい。

F 委員：資料にもあったが、堤防の改修工事の具体的なことはわからないのか。

事務局：国の直轄事業であり、3期事業には予定されているが、いつどういう工法でやるか、国から示されていない。

F 委員：工事の仕方によっては、かなり営業の仕方が変わってくると思うが。

会 長：事務局説明では、競走水面が面する工事の施工時には一定期間本場開催が不可能になる可能性があるということであり、大きな課題ということになる。

D 委員：国土交通省から、詳細なものがきていない。10年計画というのは決まっており、黒崎地区は今工事にかかっているが、競艇場はいつからというのはまだ聞いてない。

C 委員：撫養港海岸保全施設整備は、地元で委員会を設けており、年次計画、事業計画について、国土交通省の職員からいろいろな説明を受け、また意見交換している。その中で各関連事業所ということで競艇場も参加し、競艇事業は単年度事業でなく、1年2年という計画のもとで施行しており、工事を単に年次計画的に進められるのでは困るので、前もって協議をという申し入れをしていると聞いている。この会議においても、調整により、具体的な説明を受ける機会を設けることも可能ではないか。

会 長：市役所の中での所管部局間あるいは関連機関との調整などが必要となるので、この検討会議とリンクする形で調整等願います。

10. 閉 会

第2回を8月31日(月)の13時30分から、鳴門競艇場で開催することを決定し、閉会。